

喜びや悲しみ…、音楽を通して人々の命に寄り添うオルガニスト

扉をあけて

元気さん

みやざき ひろゆき
宮崎 裕之 さん



26歳で亡くなった童謡詩人、金子みすゞを思い、これまで二十六の詩に曲を付けた。三年前からは毎年、同じ小倉教会（福岡県）所属の歌い手、綾部勤子（いそこ）さんと「金子みすゞハー

開き、地域住民に優しさを届けている。

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

26歳で亡くなった童謡詩人、金子みすゞを思い、これまで二十六の詩に曲を付けた。三年前からは毎年、同じ小倉教会（福岡県）所属の歌い手、綾部勤子（いそこ）さんと「金子みすゞハー

開き、地域住民に優しさを届けている。

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

「詩についての私の解釈は入れず、みすゞの言葉が、みすゞの言葉として響くように、曲で表現しよう」と努めました。詩の根底にあるものをつかむため、作曲の時間は

ひ等による重度重複障がいがある詩人、大越桂さん（宮城県仙台市在住）の詩に魅了され、楽曲に仕上げる。

「一般の人々にとって教会は敷居が高く、教会用語も理解しにくいと思います。みすゞの詩のよ

うに、キリスト教に通じる普遍的なものは、聴く人の心の深みに寄り添うようです。人は優しさや悲しみの根源に、神のよ